

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

アドバンス・ロジスティクス投資法人（証券コード: 3493）

【クレジット・モニター指定】

長期発行体格付
債券格付AA- → #AA-/ポジティブ
AA- → #AA-/ポジティブ

■格付事由

- (1) アドバンス・ロジスティクス投資法人（ADL）と三井不動産ロジスティクスパーク投資法人（MFLP）は本日、24年11月1日を効力発生日として合併契約を締結したと発表した。物流施設を主な投資対象としている投資法人同士の合併となるが、本合併では、MFLPを吸収合併存続法人、ADLを吸収合併消滅法人とする。また、本合併に伴い、MFLPが資産の運用を委託する三井不動産ロジスティクスリートマネジメント（MFLM）及びADLが資産の運用を委託する伊藤忠リート・マネジメント（IRM）は本日、24年11月1日を効力発生日として吸収分割契約を締結し、MFLMを吸収分割承継会社、IRMを吸収分割会社とし、物流施設等の資産運用事業を承継対象とする吸収分割を行うことを発表した。本吸収分割により、MFLMの株主構成は三井不動産が77%、IRMが23%の比率となり、従来の三井不動産の単独スポンサー体制から三井不動産と伊藤忠商事グループのダブルスポンサー体制に移行する。
- (2) JCRでは、MFLPの長期発行体格付を「AA」、見通しを「安定的」、ADLの長期発行体格付を「AA-」、見通しを「安定的」と公表してきた。本日時点で各投資法人が構築しているポートフォリオは、MFLPで30物件・資産規模3,997億円、ADLで16物件・資産規模1,392億円。本合併と本合併に伴う新規物件の取得により、ポートフォリオは49物件、資産規模5,765億円へと拡大し、物件分散の進展や更なる収益安定性の確保およびLTV水準の低下が見込まれる。加えて、総合デベロッパーと総合商社のダブルスポンサー体制の構築により、スポンサーサポートが強化されることが予想される。以上を踏まえ、ADLの格付をクレジット・モニターに指定し、見直し方向をポジティブとした。本合併に向けた各種手続きの進捗状況、新投資法人の合併後のポートフォリオや財務内容等を確認したうえで、新たな格付を付与していく予定である。
- (3) なお、MFLPの長期発行体格付および投資法人債券格付への影響について、JCRでは本日付で見解を公表している（ニュースリリース「24-D-0565」参照）。

（担当）秋山 高範・古口 雄介

■格付対象

発行体：アドバンス・ロジスティクス投資法人

【クレジット・モニター指定】

対象	格付
長期発行体格付	#AA-/ポジティブ

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第1回無担保投資法人債（特定投資法人債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	15億円	2019年12月12日	2024年12月12日	0.300%	#AA-/ポジティブ
第2回無担保投資法人債（特定投資法人債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	20億円	2022年2月18日	2032年2月18日	0.470%	#AA-/ポジティブ

【参考】

発行体：三井不動産ロジスティクスパーク投資法人

長期発行体格付：AA 見通し：安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年8月5日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：涛岡 由典
主任格付アナリスト：秋山 高範
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「J-REIT」（2017年7月3日）として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) アドバンス・ロジスティクス投資法人
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル